

令和 7 年度(2025 年度)

新座市内部評価報告書

【評価対象：令和 6 年度(2024 年度)実施分】

令和 7 年(2025 年) 8 月
新座市

目次

内部評価報告書の概要	1
第1章 行政評価の導入経緯	2
第2章 行政評価の実施目的	4
第3章 行政評価の全体像	5
第4章 内部評価の対象・方法	7
第5章 内部評価の結果（概要）	13
第6章 総合戦略における成果目標の達成度	24

別添資料

- 1 施策評価シート **基本政策① みんなにやさしく誰もが幸せを感じるまち【福祉健康】**
- 2 施策評価シート **基本政策② 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】**
- 3 施策評価シート **基本政策③ やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】**
- 4 施策評価シート **基本政策④ にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】**
- 5 施策評価シート **基本政策⑤ 安全・安心を実感できるまち【安全安心】**
- 6 施策評価シート **基本構想の推進のために**
- 7 事務事業評価シート（施策順：3 1 2 事業）

内部評価報告書の概要

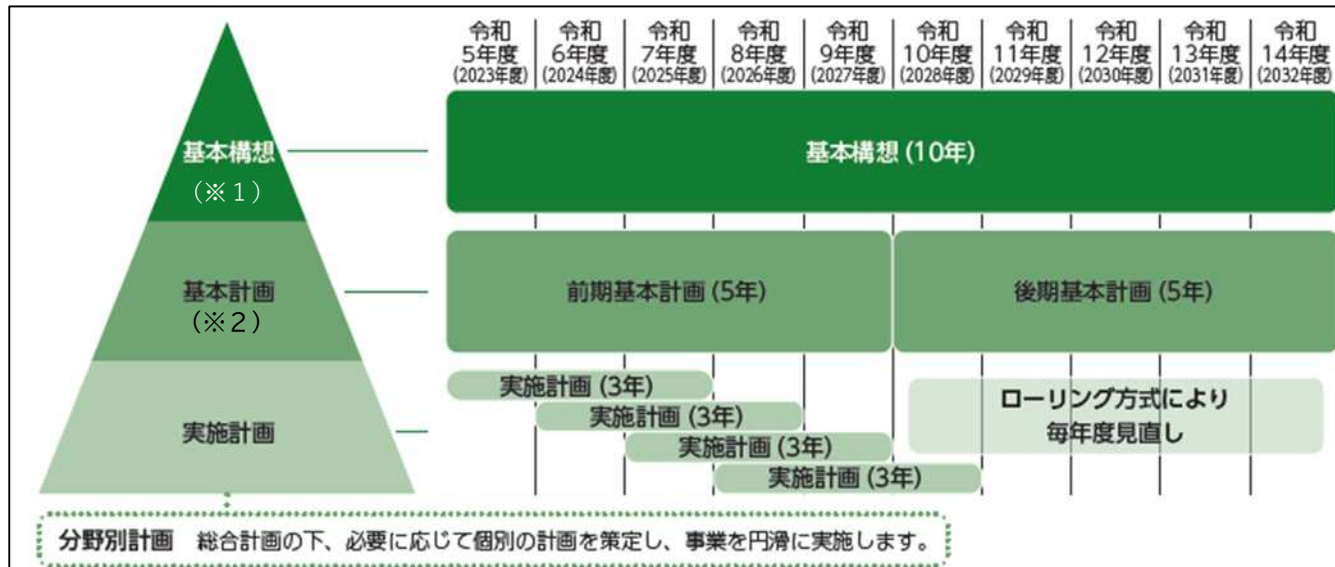
- 第1章 行政評価の導入経緯
- 第2章 行政評価の実施目的
- 第3章 行政評価の全体像
- 第4章 内部評価の対象・方法
- 第5章 内部評価の結果（概要）
- 第6章 総合戦略における成果目標の達成度

第1章 行政評価の導入経緯

本市では、第5次新座市総合計画において将来都市像として掲げる「未来もずっと暮らしに『プラス』が生まれる豊かなまち新座」の実現を目指しています。そのためには、同計画基本計画に位置付けた施策を戦略的かつ効果的・効率的に展開する必要があることから、取組の実績や進捗について適切に管理・評価しながら、状況に応じて予算へ反映させるなど、P D C Aサイクルに基づいた市政運営を推進することとしています。

そこで、第5次新座市総合計画の着実な実行と進行管理を行うため、令和6年度から新たに行政評価に取り組むこととしました。

《第5次新座市総合計画の構成》



※1 市政運営の指針となる長期構想であり、市が目指すべき将来都市像を掲げ、分野ごとの基本政策を示します。

※2 基本構想に掲げる将来都市像及び基本政策を実現するため、各分野における施策の現況と課題や主な施策展開などを示します。

基本構想		基本計画	実施計画
将来都市像	基本政策	施策領域	事業
<p style="text-align: center;">未来もずっと 暮らしに『プラス』が生まれる 豊かなまち 新座</p>	<p style="text-align: center;">基本政策① みんなにやさしく 誰もが幸せを感じるまち 【福祉健康】</p>	子育て支援	<p style="text-align: center;">予算科目（中事業）に 基づく事業</p>
		高齢者福祉	
		障がい者福祉	
		生活困窮者支援	
		健康づくり・保健衛生	
		国民健康保険・国民年金	
		地域福祉	
	<p style="text-align: center;">基本政策② 生きる力と生きがいを育むまち 【教育文化】</p>	就学前教育	
		学校教育	
		青少年健全育成	
		生涯学習	
		文化芸術	
		スポーツ・レクリエーション	
	<p style="text-align: center;">基本政策③ やすらぎと利便性が共存するまち 【都市整備】</p>	都市づくり	
		公共交通網	
		公園・緑地	
		道路	
		河川・水路	
		上水道	
		下水道	
	<p style="text-align: center;">基本政策④ にぎわいと環境が調和するまち 【市民生活】</p>	地域活動	
地域経済振興			
環境保全			
生活環境			
<p style="text-align: center;">基本政策⑤ 安全・安心を実感できるまち 【安全安心】</p>	危機管理		
<p style="text-align: center;">基本構想の推進のために</p>	共創のまちづくり		
	人権		
	シティプロモーション		
	行財政運営		

第2章 行政評価の実施目的

(1) 成果重視の行政運営への転換

「どれだけ仕事をしたか」「どれだけ資源を投入したか」ではなく、「どれだけ成果があがったか」という視点を重視した行政運営を行うことで、市民にとって満足度の高い行政の推進を目指します。

(2) 行政マネジメントサイクル（P D C A）の確立

行政評価制度の運用を通じて、業務手順を常に見直すP D C Aサイクルの定着を図り、サービス水準の向上と効率化を進め、質の高い行政運営を実現します。

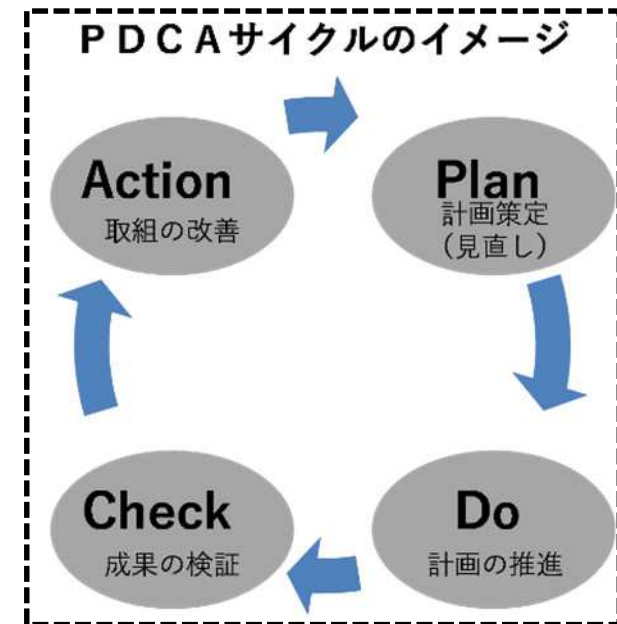
(3) 市民との情報共有化及び説明責任の向上

事業・施策の目的、達成目標やその効果等の評価情報を市民に公表することで、市民との更なる情報の共有化及び説明責任の遂行を図り、市民と市との共創によるまちづくりを推進します。

(4) 職員の意識改革と組織の活性化

評価を通じて職員一人一人が施策・事業の必要性、コスト、効果等を常に意識して職務を遂行する職場風土を醸成し、職員の意識改革を進めるとともに、仕事のやり方を工夫するきっかけをつくり、ボトムアップによる改革改善を図ります。

また、データ等を活用した事業・施策の効果の把握・分析は、職員にとって仕事の意義を見出すきっかけとなり、働く意欲の向上や組織の活性化に寄与します。



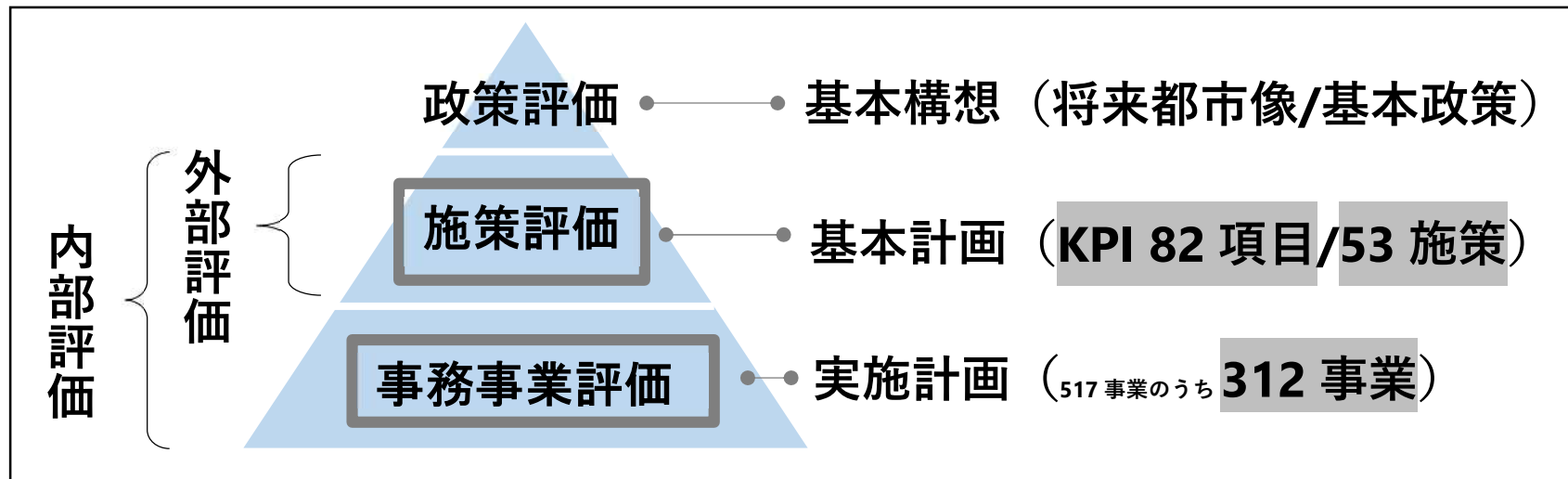
第3章 行政評価の全体像

第5次新座市総合計画における行政評価は、内部評価として「事務事業評価」及び「施策評価」を実施し、「施策評価」については、内部評価実施後、外部評価を実施します。

「施策評価」とは、施策領域ごとに設定したKPI（重要業績評価指標）の達成状況等を通じて、施策の進捗状況を把握し、課題や今後の方向性を明らかにするとともに、配下の事務事業の効果を検証し、事務事業の見直しにつなげるものです。

「事務事業評価」とは、個々の事務事業について、投入コストや成果を把握し、事務事業レベルの進行管理を行い、上位施策の成果や達成度を意識して事業を推進することで、PDCAサイクルの着実な実現につなげるものです。

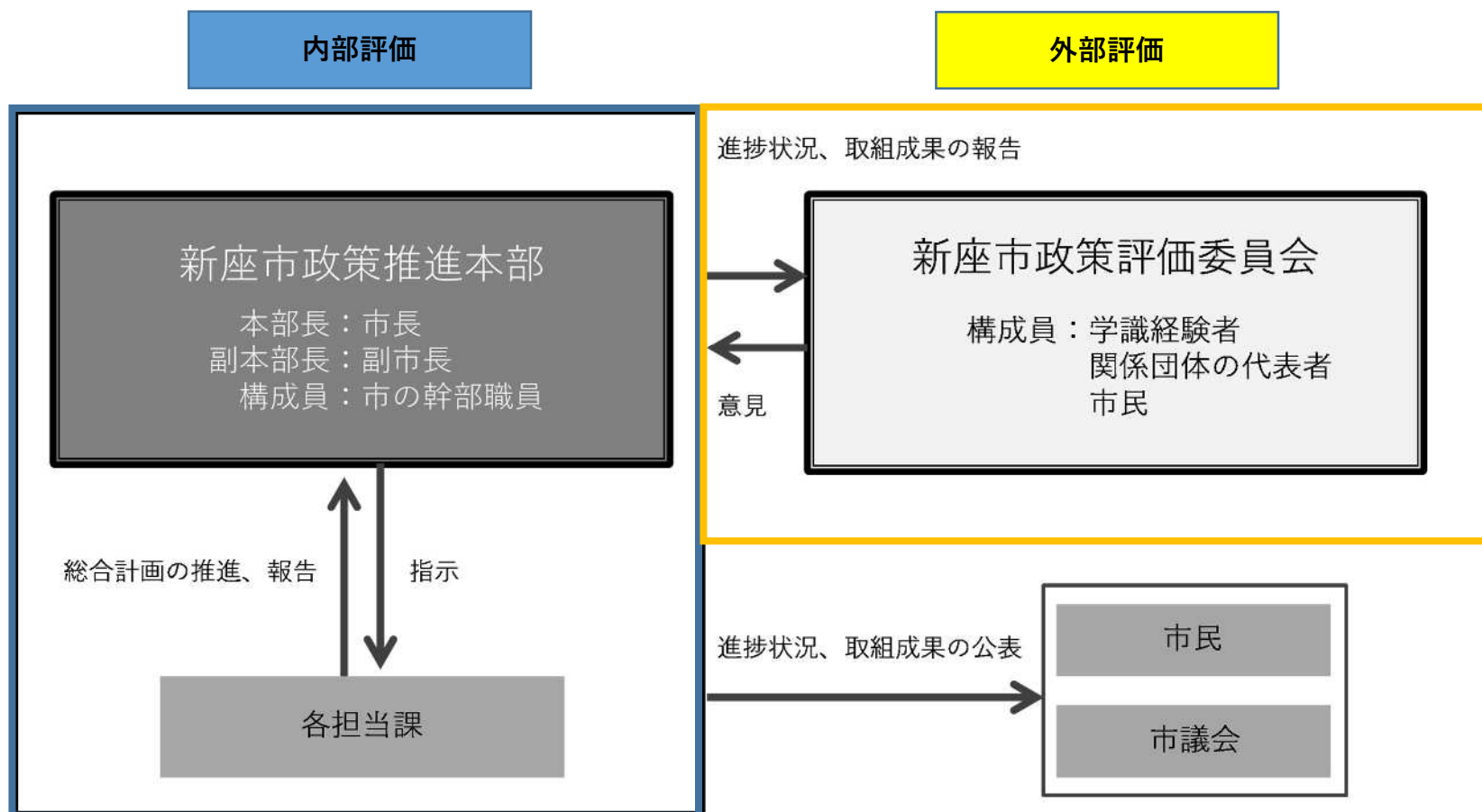
なお、施策領域「行財政運営」分野においては、「行財政改革の視点」による取組として「新座市行財政改革推進実施計画」を策定しており、同計画における取組の評価については、本書とは別に取りまとめします。



内部評価は、市長を本部長とする新座市政策推進本部を中心とした全庁的な連携の下で実施します。

外部評価は、有識者及び市民により構成された新座市政策評価委員会において、進捗状況や取組成果について報告を行うとともに、市の取組に対して意見を求め、実施します。

≪ 第5次新座市総合計画の評価体制 ≫



第4章 内部評価の対象・方法

1 内部評価の対象

令和7年度(2025年度)における内部評価は、第5次新座市総合計画前期基本計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）に位置付けた **KPI（重要業績評価指標）82項目** 及び **53施策** について **施策評価** を実施します。

また、同実施計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）に位置付けた517事業のうち、以下の基準に該当する事業を除く、312事業について、事務事業評価を実施します。

なお、いずれも令和6年度（2024年度）実施分についての評価を行います。

・国・県の制度や市の裁量の余地がない事業など

（ただし、「生活保護」「国民健康保険事務」など各施策領域の中心となる事業（中事業）については、引き続き評価を実施）

・実施計画に掲載していない事業（当該年度の事業費が100万円未満、3年間の事業費総額300万円未満の事業）

< K P I (重要業績評価指標) 82項目一覧 >

施策領域	NO.	項目
子育て支援	1	子育て支援センター利用者数
	2	保育所等の待機児童数
	3	アシタエールの支援に対する満足度(対象:通所利用児の保護者)
高齢者福祉	4	老人福祉センター利用者数
	5	要介護認定率
	6	高齢者相談センター(地域包括支援センター)利用件数
	7	成年後見制度利用件数
障がい者福祉	8	基幹相談支援センター相談件数
	9	就労定着支援の利用者数
生活困窮者支援	10	就労指導等により保護廃止となった世帯数(自立世帯数)
	11	就労支援により就労を開始した人の割合
健康づくり・保健衛生	12	がん検診受診率
	13	母子健康手帳交付時の妊婦の状況把握率
	14	自殺死亡率(人口10万人対)
	15	特定健康診査の受診率/特定保健指導の利用率
国民健康保険・国民年金	16	国民健康保険税収納率
	17	福祉に関する困りごとの解決に向けた対応をした割合
地域福祉	18	地域福祉活動の拠点の整備
	19	子育てに関する講座への参加率
就学前教育	20	幼児・児童交流会への参加している幼稚園、保育園の割合
	21	主体的・対話的で深い学びの実施
学校教育	22	県学力・学習状況調査における、学力レベルを伸ばした児童生徒の割合と学力の伸び率
	23	不登校の割合
	24	規則正しく健康的な生活を送っている児童生徒の割合:朝食を食べる(全国学調)
	25	運動やスポーツが好きだと答えた児童生徒の割合(全国運動能力・運動習慣等調査)

施策領域	NO.	項目
	26	新体力テスト 絶対評価上位3ランクの児童の割合
	27	老朽化対策を実施した校舎数
青少年健全育成	28	ココフレンドの登録率
	29	新座っ子ばわーあっぶくらぶ開設クラブ数・参加者数
生涯学習	30	出前講座依頼件数/実施件数
	31	ボランティアバンク登録者数
	32	にいざプラスカレッジ参加者数
文化芸術	33	新座快適みらい都市市民まつり文化祭来場者数
	34	歴史民俗資料館来館者数
スポーツ・レクリエーション	35	スポーツ施設利用者数(屋外)
	36	スポーツ施設利用者数(屋内)
	37	学校施設遊び場開放利用者数
都市づくり	38	新座駅北口土地区画整理事業進捗率
	39	通報があった空家等の管理不全箇所の解決率
公共交通網	40	コミュニティバス利用者数
	41	交通安全教室実施回数・人数
公園・緑地	42	緑地面積
	43	市民一人当たりの都市公園面積
	44	緑・公園に関するボランティア登録者数
道路	45	都市計画道路整備率
	46	市道舗装修繕計画による市道修繕率
	47	橋梁長寿命化修繕計画による修繕率
河川・水路	48	開発行為等における雨水貯留・浸透施設設置率
上水道	49	有収率
	50	管路耐震化率(管路全体/基幹管路)
	51	水質検査項目の合格/水質基準適合率
下水道	52	新座市汚水管路ストックマネジメント計画(第1期)による進捗率/改築延長 L=1,560m

施策領域	NO.	項目
	5 3	新座市雨水管理総合計画による整備率／貯留管φ1,200mm L=650m
地域活動	5 4	町内会加入率
	5 5	公益活動団体数（市民公益活動補償制度登録団体数）
	5 6	市内共催日本語教室数
地域経済振興	5 7	経営相談及び起業・創業者からの相談件数
	5 8	遊休農地面積
	5 9	就職セミナー等の実施回数
	6 0	消費生活センターにおける自主交渉率
環境保全	6 1	環境に関する講座・セミナーの開催回数
	6 2	温室効果ガスの排出量（市域・事務事業）
	6 3	設置可能な市保有建築物の太陽光発電導入率
	6 4	公用車における電動車の導入率
	6 5	ごみの総排出量
生活環境	6 6	野火止用水におけるBOD濃度
	6 7	環境美化活動の参加団体数

施策領域	NO.	項目
危機管理	6 8	防災訓練を実施する自主防災会数／実施回数／参加者数
	6 9	消防団員数
	7 0	自主防犯パトロールを実施する団体数
共創のまちづくり	7 1	公募による市民委員枠を設けている附属機関等の割合
	7 2	市民意識調査の回答回収率
人権	7 3	各種審議会・委員会への女性登用率
	7 4	市役所における女性役付職員の割合
シティプロモーション	7 5	年間転入者数
	7 6	観光ボランティアガイドの年間案内人数
	7 7	SNS公式アカウントの登録者数（Twitter(現X)、Facebook、LINE、YouTube）
	7 8	新座ブランド年間販売実績額
行財政運営	7 9	男性職員の育児休業取得率
	8 0	財政調整基金の残高（通年）
	8 1	市税込納率
	8 2	経常収支比率

< 5 3 施策及び施策ごとの事業数一覧 >

施策領域	NO.	施策	事業数
子育て支援	1	施策1 子ども・子育て支援の充実	23
高齢者福祉	2	施策1 高齢者福祉の充実	26
障がい者福祉	3	施策1 障がい者福祉の充実	14
生活困窮者支援	4	施策1 生活困窮者支援の充実	4
健康づくり・保健衛生	5	施策1 健康づくりの推進	1
	6	施策2 保健衛生の向上	12
国民健康保険・国民年金	7	施策1 国民健康保険の充実	5
	8	施策2 国民年金制度の推進	1
地域福祉	9	施策1 地域福祉の充実	6
就学前教育	10	施策1 就学前教育の充実	0
学校教育	11	施策1 教育内容の充実	13
	12	施策2 教育活動の質の向上	9
	13	施策3 教育環境の整備・充実	34
青少年健全育成	14	施策1 青少年の健全育成の推進	3
生涯学習	15	施策1 生涯学習の推進	14
文化芸術	16	施策1 文化芸術活動の振興	0
	17	施策2 文化財の保存・活用	5
スポーツ・レクリエーション	18	施策1 スポーツ・レクリエーションの振興	9
都市づくり	19	施策1 計画的なまちづくりの推進	2
	20	施策2 空家等対策体制の充実	1
公共交通網	21	施策1 公共交通網の充実	7
	22	施策2 交通安全の確立	4
公園・緑地	23	施策1 良好な自然環境の保全、活用、創出	4
	24	施策2 憩いの場となる公園の充実	8
道路	25	施策1 道路交通網の整備	4
	26	施策2 道路管理の充実	5
河川・水路	27	施策1 治水対策の推進	1
	28	施策2 河川・水路環境の整備	2

施策領域	NO.	施策	事業数
上水道	29	施策1 上水道の安定供給	4
下水道	30	施策1 下水道の整備促進	3
地域活動	31	施策1 コミュニティ活動の推進	4
	32	施策2 ボランティア・市民活動の推進	1
	33	施策3 国際化の推進	1
地域経済振興	34	施策1 中小企業の経営基盤の強化	2
	35	施策2 商工業の充実	4
	36	施策3 都市農業の振興	7
	37	施策4 就労支援体制の充実	0
	38	施策5 豊かで安心できる消費生活	2
環境保全	39	施策1 脱炭素社会の推進	1
	40	施策2 循環型社会の推進	8
生活環境	41	施策1 安全で快適な環境の創出	9
危機管理	42	施策1 災害に強いまちづくりの推進	17
	43	施策2 防犯体制の充実	1
	44	施策3 危機管理への対応力強化	0
共創のまちづくり	45	施策1 共創によるまちづくりの推進	3
人権	46	施策1 人権尊重社会の構築	1
	47	施策2 多様性を認め合う社会の形成とジェンダー平等の推進	2
	48	施策3 平和意識の高揚	0
シティプロモーション	49	施策1 選ばれるまちになるためのシティプロモーションの推進	1
	50	施策2 新座ならではの魅力づくり	2
	51	施策3 まちの魅力を伝え広める仕組みづくり	0
行財政運営	52	施策1 行政の効率化・高度化の推進	18
	53	施策2 健全な財政の確立	4
事業数合計			312

2 内部評価の方法

(1) 事務事業評価

事務事業評価については、予算科目（中事業）に基づく事業ごとに実施内容及び指標等の事業実績を踏まえ、事業の実施状況等について評価し、今後の方向性及び取組方針を各事務事業評価シートに記載しました。

<事務事業評価シートの選択項目>

事業の実施状況	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	【判断基準】 A⇒ 計画に対する達成度が100%超 B⇒ 計画に対する達成度が100～70% C⇒ 計画に対する達成度70%未満
事業の必要性	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	【評価の視点】 ・市民からの要望が十分にあるか。 ・社会情勢や環境の変化などによる事業の必要性に変化はないか。 ・市が実施する事業として、必要不可欠なものであるか。
事業の効率性 (見直す余地)	A：余地はない B：余地はある	【評価の視点】 ・事業の成果を下げずに、事業費の低減ができないか。 ・事業の成果に対して、投入する事業費の規模は適正か。 ・民間委託等により効率化を図れないか。 ・事務事業実施の過程に無駄はないか。 ・目的が類似する事務事業はないか。
施策への貢献度	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	【評価の視点】 ・事業を実施することによる効果が総合計画に掲げる施策の達成にどの程度寄与するのか。
今後の方向性	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	

(2) 施策評価

施策評価については、施策領域ごとに設定したK P I（重要業績評価指標）の達成状況及び施策を構成する事務事業評価の結果等を踏まえた施策の推進状況について、施策を評価し、各施策評価シートに記載しました。

< 施策評価シートの選択項目 >

K P I の達成状況	A：目標値を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標値を下回るペースの指標値	
総合評価	A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた	【判断基準】 A⇒ 計画に対する達成度が100%超 B⇒ 計画に対する達成度が100～70% C⇒ 計画に対する達成度70%未満
今後の方向性	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	

(3) 内部評価のプロセス

第5次新座市総合計画を効果的に推進するため、市長を本部長とする新座市政策推進本部を中心とした全庁的な連携の下、次のプロセスを経て実施しました。

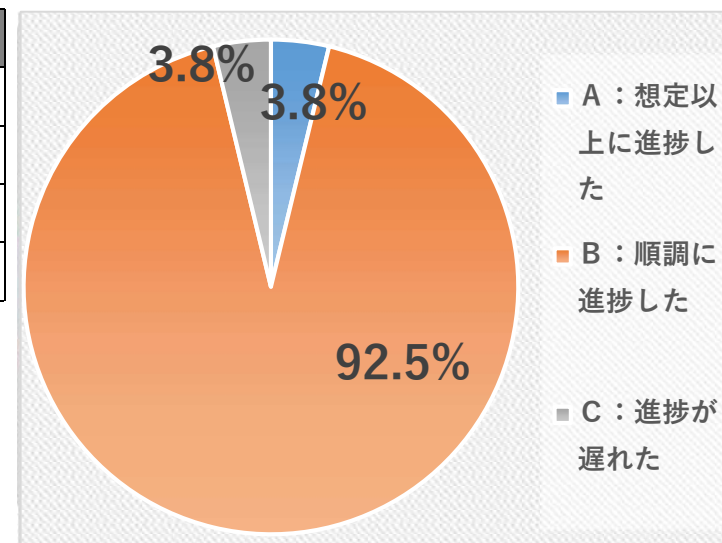
事務事業評価	施策評価
①事業所管課が事務事業評価シートを作成	①施策所管課が施策評価シートを作成
↓	↓
②事業の所管部長が承認	②施策所管課の入力情報を基に、新座市政策推進本部事務局（政策課）が施策評価案を作成
↓	↓
③新座市政策推進本部が承認（最終評価）	③新座市政策推進本部で審議・承認（最終評価）

第5章 内部評価の結果（概要）

1 施策評価

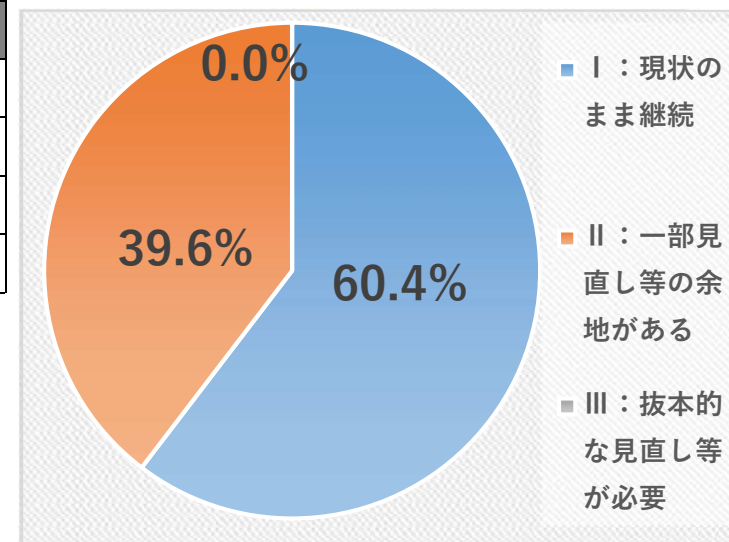
(1) 施策の総合評価

評価	施策数	比率
A：想定以上に進捗した	2	3.8%
B：順調に推移した	49	92.5%
C：進捗が遅れた	2	3.8%
合計	53	100.0%



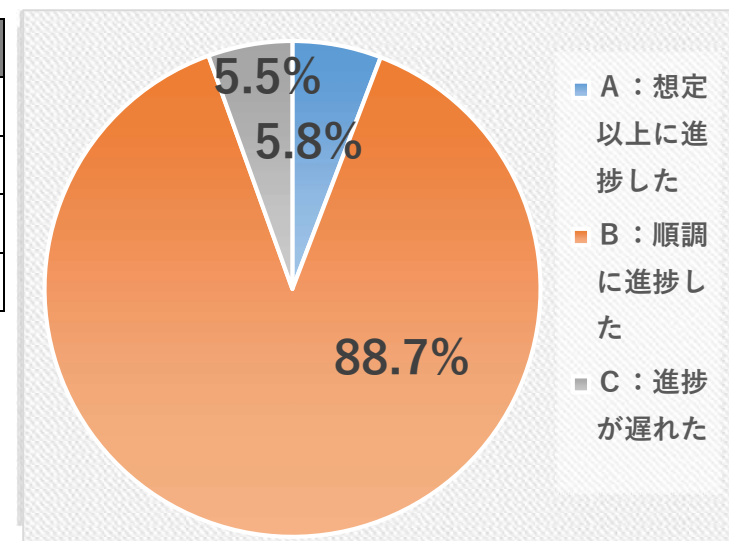
(2) 施策の今後の方向性

評価	施策数	比率
I：現状のまま継続	32	60.4%
II：一部見直し等の余地がある	21	39.6%
III：抜本的な見直し等が必要	0	0.0%
合計	53	100.0%



(3) 主な施策展開の推進状況

評価	評価数	比率
A：想定以上に進捗した	20	5.8%
B：順調に進捗した	306	88.7%
C：進捗が遅れた	19	5.5%
合計	345	100.0%



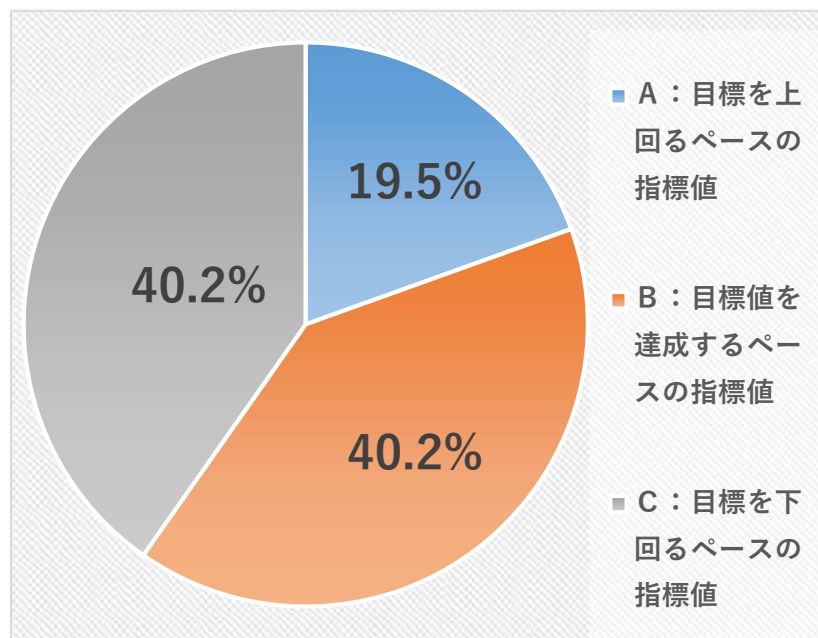
< 5 3 施策及び施策ごとの評価一覧 > (1)~(3)関連

施策領域	NO.	施策	総合評価	今後の方向性	推進状況		
					A	B	C
子育て支援	1	施策1 子ども・子育て支援の充実	B	II	0	17	0
高齢者福祉	2	施策1 高齢者福祉の充実	B	II	2	12	0
障がい者福祉	3	施策1 障がい者福祉の充実	B	I	1	14	0
生活困窮者支援	4	施策1 生活困窮者支援の充実	B	II	1	5	0
健康づくり・保健衛生	5	施策1 健康づくりの推進	B	II	0	3	0
	6	施策2 保健衛生の向上	B	II	0	7	0
国民健康保険・国民年金	7	施策1 国民健康保険の充実	B	II	2	4	0
	8	施策2 国民年金制度の推進	B	I	0	2	0
地域福祉	9	施策1 地域福祉の充実	B	I	2	4	0
就学前教育	10	施策1 就学前教育の充実	C	II	0	1	2
学校教育	11	施策1 教育内容の充実	B	II	1	9	0
	12	施策2 教育活動の質の向上	B	I	0	4	0
	13	施策3 教育環境の整備・充実	B	II	0	10	0
青少年健全育成	14	施策1 青少年の健全育成の推進	B	II	0	6	0
生涯学習	15	施策1 生涯学習の推進	B	II	0	14	2
文化芸術	16	施策1 文化芸術活動の振興	B	I	0	5	0
	17	施策2 文化財の保存・活用	B	II	0	4	0
スポーツ・レクリエーション	18	施策1 スポーツ・レクリエーションの振興	B	II	1	4	0
都市づくり	19	施策1 計画的なまちづくりの推進	B	II	2	6	3
	20	施策2 空家等対策体制の充実	B	I	0	4	0
公共交通網	21	施策1 公共交通網の充実	B	I	0	7	0
	22	施策2 交通安全の確立	B	I	0	5	1
公園・緑地	23	施策1 良好な自然環境の保全、活用、創出	B	II	0	7	1
	24	施策2 憩いの場となる公園の充実	B	I	0	7	0
道路	25	施策1 道路交通網の整備	C	II	1	3	3
	26	施策2 道路管理の充実	B	I	0	5	0
河川・水路	27	施策1 治水対策の推進	B	I	0	3	0
	28	施策2 河川・水路環境の整備	B	I	0	3	0

施策領域	NO.	施策	総合評価	今後の方向性	推進状況		
					A	B	C
上水道	29	施策1 上水道の安定供給	B	I	0	5	0
下水道	30	施策1 下水道の整備促進	B	I	0	6	0
地域活動	31	施策1 コミュニティ活動の推進	B	II	0	3	1
	32	施策2 ボランティア・市民活動の推進	B	I	0	3	0
	33	施策3 国際化の推進	B	I	0	4	0
地域経済振興	34	施策1 中小企業の経営基盤の強化	A	I	2	2	0
	35	施策2 商工業の充実	B	I	0	4	1
	36	施策3 都市農業の振興	B	I	0	5	0
	37	施策4 就労支援体制の充実	B	I	0	3	0
	38	施策5 豊かで安心できる消費生活	B	I	1	3	0
環境保全	39	施策1 脱炭素社会の推進	B	I	0	3	0
	40	施策2 循環型社会の推進	B	I	1	5	1
生活環境	41	施策1 安全で快適な環境の創出	B	I	1	11	0
危機管理	42	施策1 災害に強いまちづくりの推進	B	II	0	11	3
	43	施策2 防犯体制の充実	B	I	0	8	0
	44	施策3 危機管理への対応力強化	B	I	0	1	0
共創のまちづくり	45	施策1 共創によるまちづくりの推進	B	II	0	12	0
人権	46	施策1 人権尊重社会の構築	B	I	0	4	0
	47	施策2 多様性を認め合う社会の形成とジェンダー平等の推進	B	II	0	6	1
	48	施策3 平和意識の高揚	A	I	1	0	0
シティプロモーション	49	施策1 選ばれるまちになるためのシティプロモーションの推進	B	I	0	2	0
	50	施策2 新座ならではの魅力づくり	B	I	0	6	0
	51	施策3 まちの魅力を伝え広める仕組みづくり	B	I	1	6	0
行財政運営	52	施策1 行政の効率化・高度化の推進	B	I	0	11	0
	53	施策2 健全な財政の確立	B	II	0	7	0

(4) K P I（重要業績評価指標）の達成状況

評価	K P I 数	比率
A：目標を上回るペースの指標値	16	19.5%
B：目標値を達成するペースの指標値	33	40.2%
C：目標を下回るペースの指標値	33	40.2%
合計	82	100.0%



< K P I (重要業績評価指標) 82項目評価一覧 > (4) 関連

施策領域	NO.	項目	評価
子育て支援	1	子育て支援センター利用者数	C
	2	保育所等の待機児童数	C
	3	アンタエールの支援に対する満足度（対象：通所利用児の保護者）	B
高齢者福祉	4	老人福祉センター利用者数	A
	5	要介護認定率	C
	6	高齢者相談センター（地域包括支援センター）利用件数	C
	7	成年後見制度利用件数	C
障がい者福祉	8	基幹相談支援センター相談件数	A
	9	就労定着支援の利用者数	A
生活困窮者支援	10	就労指導等により保護廃止となった世帯数（自立世帯数）	A
	11	就労支援により就労を開始した人の割合	A
健康づくり・保健衛生	12	がん検診受診率	C
	13	母子健康手帳交付時の妊婦の状況把握率	B
	14	自殺死亡率（人口10万人対）	C
国民健康保険・国民年金	15	特定健康診査の受診率／特定保健指導の利用率	C
	16	国民健康保険税収納率	A
地域福祉	17	福祉に関する困りごとの解決に向けた対応をした割合	B
	18	地域福祉活動の拠点の整備	B
就学前教育	19	子育てに関する講座への参加率	C
	20	幼児・児童交流会への参加している幼稚園、保育園の割合	A
学校教育	21	主体的・対話的で深い学びの実施	B
	22	県学力・学習状況調査における、学力レベルを伸ばした児童生徒の割合と学力の伸び率	C
	23	不登校の割合	C
	24	規則正しく健康的な生活を送っている児童生徒の割合：朝食を食べる（全国学調）	A
	25	運動やスポーツが好きだと答えた児童生徒の割合（全国運動能力・運動習慣等調査）	B
	26	新体力テスト 絶対評価上位3ランクの児童の割合	B
	27	老朽化対策を実施した校舎数	B

施策領域	NO.	項目	評価
青少年健全育成	28	ココフレンドの登録率	C
	29	新座っ子ばわーあっぷくらぶ開設クラブ数・参加者数	C
生涯学習	30	出前講座依頼件数／実施件数	B
	31	ボランティアバンク登録者数	C
文化芸術	32	にいぎプラスカレッジ参加者数	C
	33	新座快適みらい都市市民まつり文化祭来場者数	C
スポーツ・レクリエーション	34	歴史民俗資料館来館者数	C
	35	スポーツ施設利用者数（屋外）	C
都市づくり	36	スポーツ施設利用者数（屋内）	C
	37	学校施設遊び場開放利用者数	C
	38	新座駅北口土地区画整理事業進捗率	C
公共交通網	39	通報があった空家等の管理不全箇所の解決率	C
	40	コミュニティバス利用者数	B
公園・緑地	41	交通安全教室実施回数・人数	C
	42	緑地面積	C
道路	43	市民一人当たりの都市公園面積	B
	44	緑・公園に関するボランティア登録者数	B
河川・水路	45	都市計画道路整備率	C
	46	市道舗装修繕計画による市道修繕率	B
	47	橋梁長寿命化修繕計画による修繕率	B
上水道	48	開発行為等における雨水貯留・浸透施設設置率	B
	49	有収率	B
下水道	50	管路耐震化率（管路全体／基幹管路）	C
	51	水質検査項目の合格／水質基準適合率	B
地域活動	52	新座市污水管路ストックマネジメント計画（第1期）による進捗率／改築延長 L=1,560m	B
	53	新座市雨水管理総合計画による整備率／貯留管φ1,200mm L=650m	B
地域経済振興	54	町内会加入率	C
	55	公益活動団体数（市民公益活動補償制度登録団体数）	B
	56	市内共催日本語教室数	B
	57	経営相談及び起業・創業者からの相談件数	A
	58	遊休農地面積	B

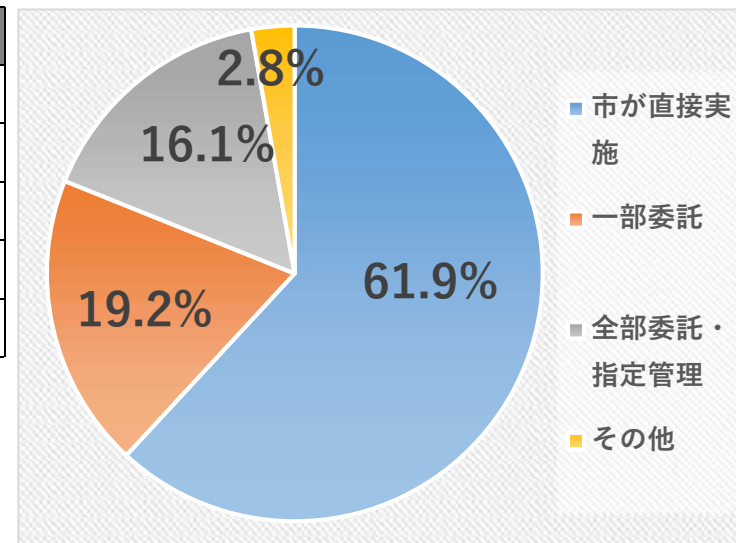
施策領域	NO.	項目	評価
	5 9	就職セミナー等の実施回数	B
	6 0	消費生活センターにおける自主交渉率	A
環境保全	6 1	環境に関する講座・セミナーの開催回数	B
	6 2	温室効果ガスの排出量（市域・事務事業）	B
	6 3	設置可能な市保有建築物の太陽光発電導入率	B
	6 4	公用車における電動車の導入率	C
	6 5	ごみの総排出量	A
生活環境	6 6	野火止用水におけるBOD濃度	A
	6 7	環境美化活動の参加団体数	B
危機管理	6 8	防災訓練を実施する自主防災会数／実施回数／参加者数	B
	6 9	消防団員数	C
	7 0	自主防犯パトロールを実施する団体数	C

施策領域	NO.	項目	評価
共創のまちづくり	7 1	公募による市民委員枠を設けている附属機関等の割合	B
	7 2	市民意識調査の回答回収率	B
人権	7 3	各種審議会・委員会への女性登用率	B
	7 4	市役所における女性役付職員の割合	C
シティプロモーション	7 5	年間転入者数	A
	7 6	観光ボランティアガイドの年間案内人数	C
	7 7	新座ブランド年間販売実績額	A
	7 8	S N S公式アカウントの登録者数（Twitter(現 X)、Facebook、LINE、YouTube）	B
行財政運営	7 9	男性職員の育児休業取得率	A
	8 0	財政調整基金の残高（通年）	B
	8 1	市税収納率	A
	8 2	経常収支比率	C

2 事務事業評価

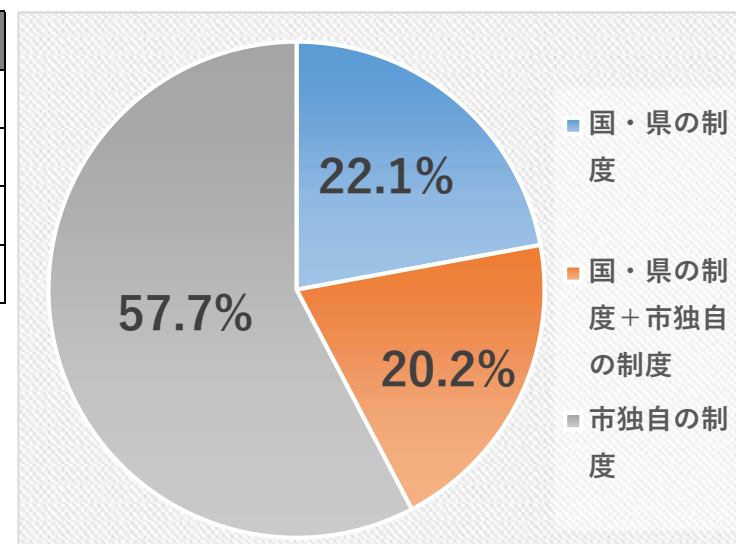
(1) 事業の実施形態（複数選択可）

項目	事業数	比率
市が直接実施	242	61.9%
一部委託	75	19.2%
全部委託・指定管理	63	16.1%
その他	11	2.8%
合計	391	100.0%



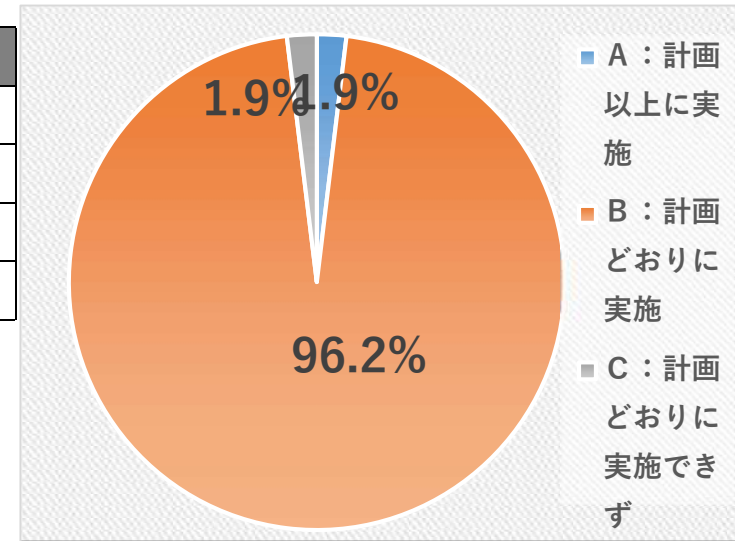
(2) 事業の実施根拠

項目	事業数	比率
国・県の制度	69	22.1%
国・県の制度 + 市独自の制度	63	20.2%
市独自の制度	180	57.7%
合計	312	100.0%



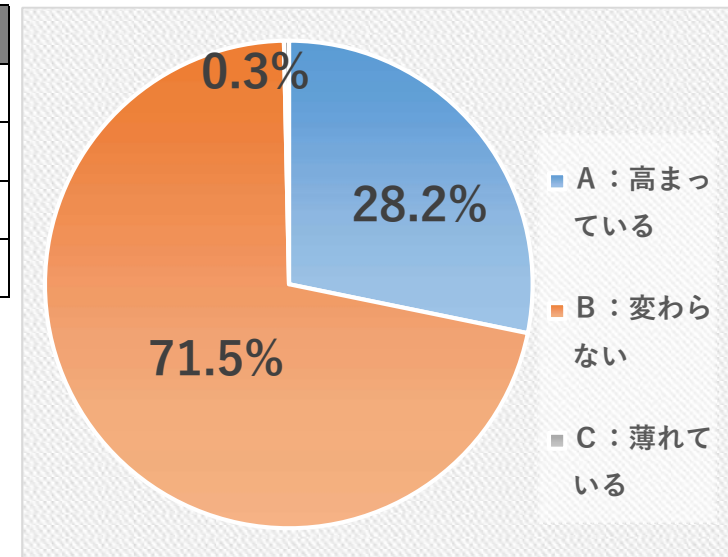
(3) 事業の実施状況

評価	事業数	比率
A：計画以上に実施	6	1.9%
B：計画どおりに実施	300	96.2%
C：計画どおりに実施できず	6	1.9%
合計	312	100.0%



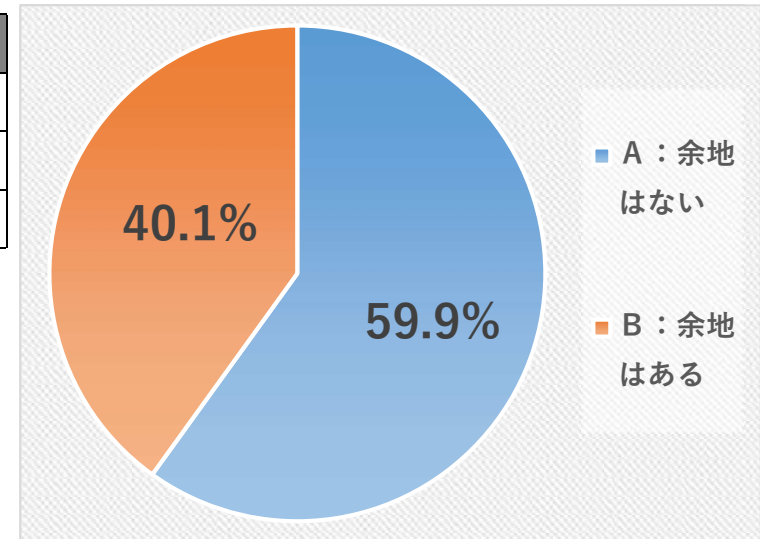
(4) 事業の必要性【市民ニーズ】

評価	事業数	比率
A：高まっている	88	28.2%
B：変わらない	223	71.5%
C：薄れている	1	0.3%
合計	312	100.0%



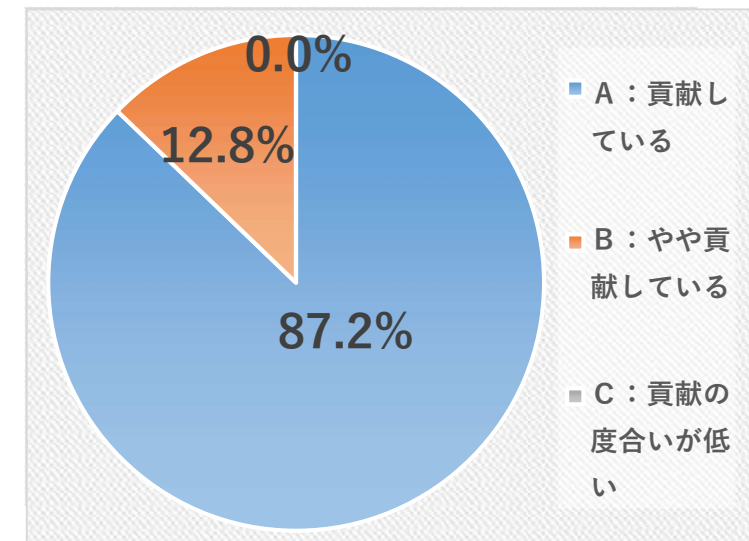
(5) 事業の効率性【見直す余地】

評価	事業数	比率
A：余地はない	187	59.9%
B：余地はある	125	40.1%
合計	312	100.0%



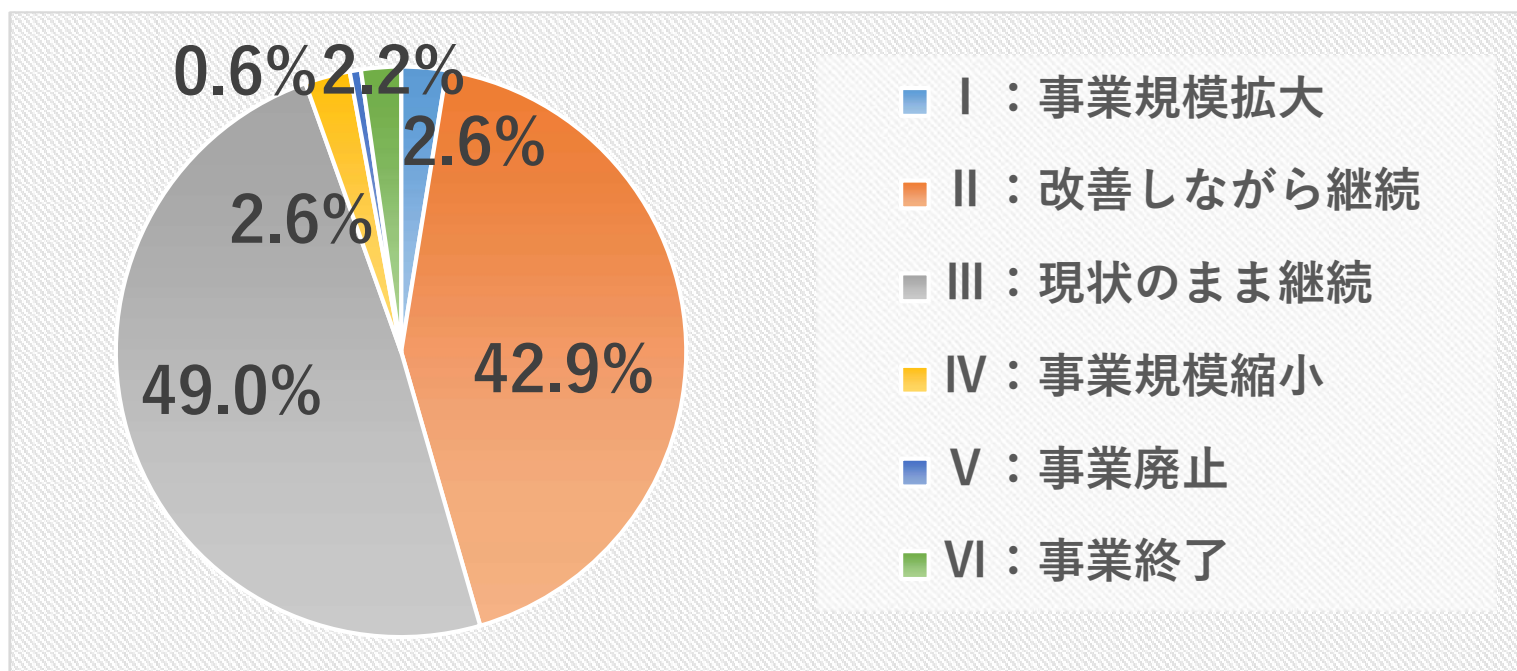
(6) 事業の施策への貢献度

評価	事業数	比率
A：貢献している	272	87.2%
B：やや貢献している	40	12.8%
C：貢献の度合いが低い	0	0.0%
合計	312	100.0%



(7) 事業の今後の方向性

評価	事業数	比率
I：事業規模拡大	8	2.6%
II：改善しながら継続	134	42.9%
III：現状のまま継続	153	49.0%
IV：事業規模縮小	8	2.6%
V：事業廃止	2	0.6%
VI：事業終了	7	2.2%
合計	312	100.0%



第6章 総合戦略における成果目標の達成度

市政全般にわたる取組を地方創生の取組として総合的に推進するため、第5次新座市総合計画前期基本計画と一致させる形で新座市デジタル田園都市構想総合戦略（以下「総合戦略」という。）を策定しています。

総合戦略の評価については、第5次新座市総合計画の評価と一致しますが、総合戦略のみで掲げた成果目標の達成度を次のとおり評価しました。

【成果目標の達成度評価について】

評価A：期間内に目標値を上回るペースの指標値 など
 評価B：目標値を7割～8割程度達成するペースの指標値 など
 評価C：事業開始前よりも改善が見られる又は現状維持 など
 評価D：事業開始前より悪化している など

1 目標人口 達成度評価： B	(参考) 策定時の数値	指標値 (実績値)	目標値
	【令和4年度】 16万5,611人	【令和6年度】 16万6,392人	【令和9年度】 17万1,000人
2 合計特殊出生率 達成度評価： D	(参考) 策定時の数値	指標値 (実績値)	目標値
	【令和4年】 1.03	【令和6年】 1.02	【令和9年】 1.38

新座市内部評価報告書

発行日 令和7年(2025年)8月

発行 新座市

編集 新座市総合政策部政策課